

神流町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

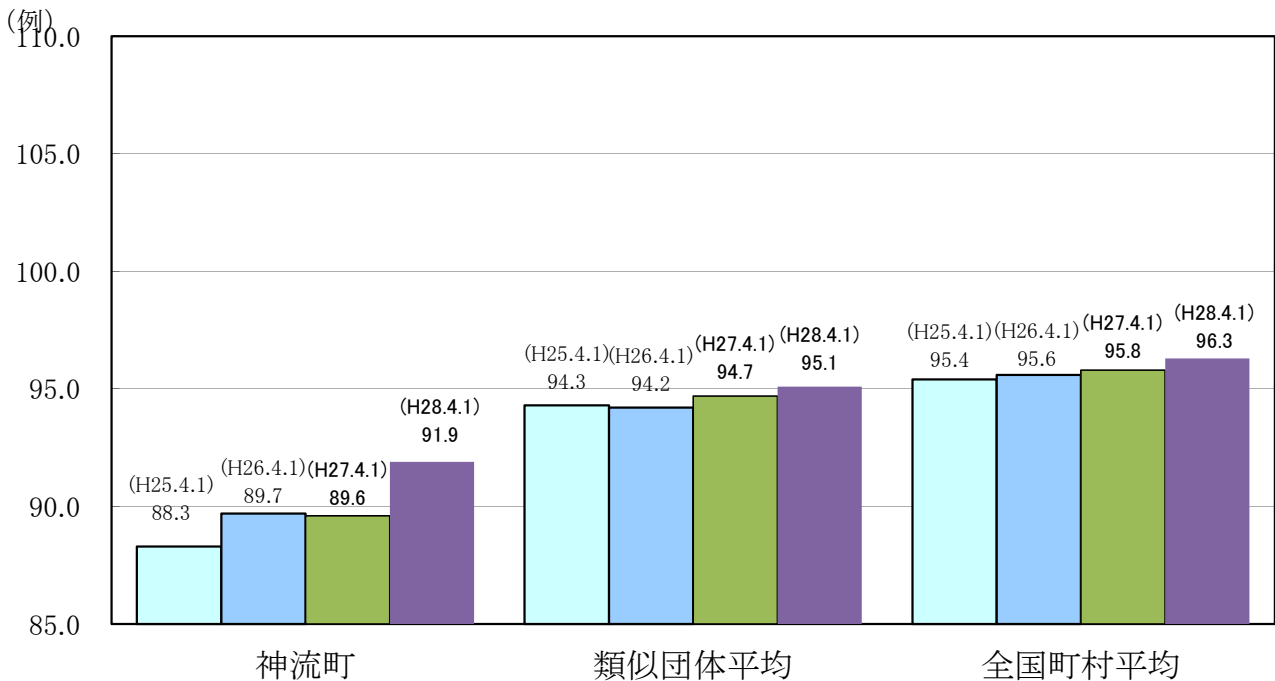
区分	住民基本台帳人口 (平成28年1月1日)	歳出額 A	実質収支 千円	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 26年度の人件費率
27年度	人 2,098	千円 2,799,196	千円 80,123	千円 528,289	% 18.9	% 20.4

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
27年度	人 61	千円 214,102	千円 33,641	千円 79,474	千円 327,217	千円 5,364	千円 5,504

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、27年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

- 2 「類似団体平均」とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
 3 平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

※ 平成28年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

経験年数階層や職員構成の変動による上昇、定員管理や昇給・昇任の適正化を実施し、改善に努める。

(4) 給与改定の状況 人事委員会を設置している団体のみ公表

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）平成28年4月1日
（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ平均2%引下げ。激変緩和のため、2年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。

②地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

該当なし

③その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。（平成28年4月1日実施）

(6) 特記事項

なし

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成28年4月1日現在）

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
神流町	39.7 歳	277,100 円	306,100 円	295,455 円
群馬県	43.6 歳	341,100 円	410,910 円	373,501 円
国	43.6 歳	331,816 円	—	410,984 円
類似団体	40.9 歳	295,868 円	337,348 円	321,005 円

②技能労務職

区 分	公 務 員					民 間			参 考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
神流町	- 歳	- 人	- 円	- 円	- 円	-	-	-	-
群馬県	51.5 歳	94 人	342,100 円	373,434 円	364,053 円	-	-	-	-
国	50.4 歳	2876 人	287,447 円	-	329,358 円	-	-	-	-
類似団体	52.4 歳	2 人	277,585 円	298,955 円	291,568 円	-	-	-	-

(注) 1 「平均給料月額」とは、〇年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当等をおを除いたもの）で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（平成28年4月1日現在）

区 分		神流町	群馬県	国
一般行政職	大学卒	176,700 円	181,800 円	176,700 円
	高校卒	144,600 円	147,900 円	144,600 円
技能労務職	高校卒	— 円	143,500 円	— 円
	中学卒	— 円	— 円	— 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成28年4月1日現在）

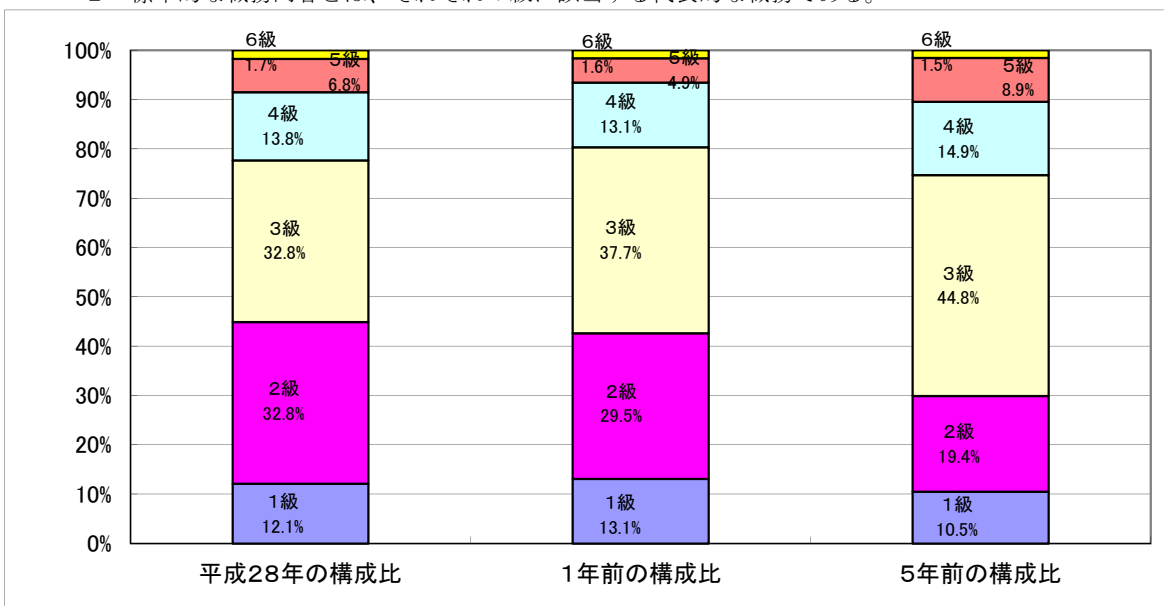
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	265,867 円	326,300 円	— 円	— 円
	高校卒	227,433 円	292,400 円	310,200 円	339,600 円
技能労務職	高校卒	— 円	— 円	— 円	— 円
	中学卒	— 円	— 円	— 円	— 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成28年4月1日現在）

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
6 級	特に重要な業務を所掌する課長	1 人	1.7 %	317,000 円	409,000 円
5 級	会計管理者、課長及びこれに相当する職務	4 人	6.8 %	286,200 円	391,800 円
4 級	課長補佐及びこれに相当する職務	8 人	13.8 %	259,900 円	379,800 円
3 級	係長、主査及びこれらに相当する職務	19 人	32.8 %	226,400 円	348,800 円
2 級	困難な業務を行う主事及びこれに相当する職務	19 人	32.8 %	190,200 円	303,000 円
1 級	主事、主事補及びこれらに相当する職務	7 人	12.1 %	140,100 円	246,100 円

- (注) 1 神流町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更している。（旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合）

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成28年4月2日から平成29年4月1日 までにおける運用	神流町		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用	○	○	○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用				
ロ 人事評価を実施していない				

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

神流町	群馬県	国
1人当たり平均支給額(平成27年度) 1,190 千円	1人当たり平均支給額(平成27年度) 1,761 千円	—
(平成27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.60 月分 (0.75)月分	(平成27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.60 月分 (0.75)月分	(平成27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.60 月分 (0.75)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~20% 管理職加算 10~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~20% 管理職加算 10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への勤務成績の反映状況(一般行政職)

平成28年度中における運用	〇〇市		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の成績率も適用	○	○	○	○
標準に加え、上位の成績率も適用				
標準に加え、下位の成績率も適用				
標準の成績率のみ適用				
ロ 人事評価を実施していない				

(2) 退職手当(平成27年4月1日現在)

神流町				国			
(支給率)	自己都合	応募認定・定年		(支給率)	自己都合	応募認定・定年	
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分		勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分		勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分		勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分		最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	
その他の加算措置 (退職時特別昇給)	勸奨退職 なし	2~20%加算		その他の加算措置 (退職時特別昇給)	なし	2~45%	
1人当たり平均支給額	9,488 千円	10,714 千円					

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成27年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当 該当なし

(4) 特殊勤務手当（平成28年4月1日現在）

支給実績(平成27年度決算)			3,892 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算)			778,400 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成27年度)			7.69 %	
手当の種類(手当数)			4種類	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (平成27年度決算)	左記職員に対する支給 単価
感染症等防疫作業手当	医師、看護師、保健師等		0千円	日額 1,000円
診療所医師手当	医師	時間外診療業務	3,054千円	月額 263,000円
診療所在直看護師手当	看護師	時間外診療業務	424千円	平日 4,200円
			414千円	休日 8,400円
行旅病人又は行旅死亡人取扱手当	医師、看護師、保健師等		0千円	日額 1,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(平成27年度決算)	3,588 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算)	54 千円
支給実績(平成26年度決算)	3,625 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)	55 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(平成27年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当（平成28年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成27年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成27年度決算)
扶養手当	・配偶者13,000円。 ・22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子、孫、弟、妹。60歳以上の父母及び祖父母。重度心身障害者。一人につき6,500円(配偶者無しの場合は1人目については11,000円) ・16歳から22歳の子は1人につき5,000円加算。	同じ		7,685 千円	213,472 円
住居手当	・借家、借間 ・月額23,000円以下の家賃 支給額=月額家賃-17,000円 ・月額23,000円を超える家賃 支給額=(月額家賃-23,000円)×1/2+6,000円。限度額22,000円。	異なる	加算額が国の約1/2 国11,000円 町6,000円	1,430 千円	89,386 円
通勤手当	2~5km未満 2,000円 5~10km未満 4,200円 10~15km未満 7,100円 15~20km未満 10,000円 20km以上 11,300円	異なる	国 60kmを 限度 町 20kmを 限度	3,819 千円	72,055 円
管理職手当	総括課長53,000円 課長45,000円 参事38,000円 補佐31,000円			7,879 千円	525,293 円
初任給調整手当	医師免許を有する者。16年未満まで 306,900円。その後別表のとおり減額	異なる	国は16年未満までは413,300円	6,528 千円	3,264,000 円
特地勤務手当	山間地その他の生活に不便な地に所在する公署に勤務する場合。(給料+扶養手当)×25/100	同じ		1,539 千円	1,539,000 円

管理職員特別勤務手当	管理職員が週休日、休日に臨時又は緊急の必要がある場合に勤務したとき 課長等6,500円 課長補佐等4,000円	異なる	国 一種から五種 12,000円～ 6,000円 町 一種 6,500円、 二種4,000円	143 千円	28,600 円
宿日直手当	宿直 1夜 4,200円 日直 1日 4,200円	同じ		2,075 千円	53,200 円

5 特別職の報酬等の状況（平成28年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	市区町村長	590,000 円 (円)	840,000 円 /	416,500 円
	副市町村長	486,000 円 (円)	705,000 円 /	385,000 円
報 酬	議 長	240,000 円 (円)	395,000 円 /	160,000 円
	副 議 長	178,000 円 (円)	310,000 円 /	130,000 円
	議 員	157,000 円 (円)	290,000 円 /	115,000 円
期 末 手 当	市区町村長 副市町村長	(平成28年度支給割合) 4.20 月分		
	議 長 副 議 長 議 員	(平成28年度支給割合) 4.20 月分		
退 職 手 当		(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	市区町村長	退職日給料月額×1年につき520/100	1,227万円	任期ごと
	副市町村長	退職日給料月額×1年につき300/100	583万円	任期ごと
	備 考			

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

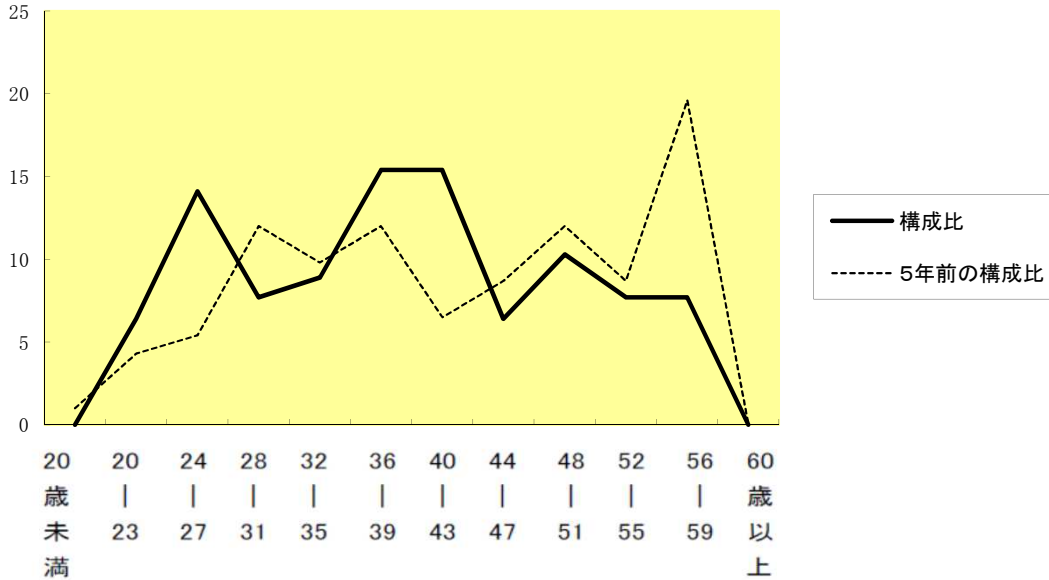
(各年4月1日現在)

区 分 部 門		職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由	
		平成27年	平成28年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	2	2	-4	業務の統廃合による効率化
		総務	21	17		
		税務	5	5		
		労働	5	4	-1	業務の統廃合による効率化 観光業務の充実
		農水				
		商工				
土木						
民生	7	7	1	保健業務内容の充実		
衛生	10	11				
計	59	56	-3	<参考> 人口1万人当たり職員数 266.92 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 161.49 人)		
教育部門	6	5	-1	社会教育事務員欠員不補充		
消防部門						
小計	65	61	-4	<参考> 人口1万人当たり職員数 290.75 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 185.87 人)		
公営企業計等部門	水道	2	2	1	介護予防日常生活支援総合事業に伴う増員	
	下水道	1	1			
	その他	13	14			
小計	16	17	1			
合計		81 [85]	78 [85]	-3	<参考> 人口1万人当たり職員数 371.78 人	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (平成28年4月1日現在)

(例) %



区 分	20歳未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳 以上	計
職員数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
		5	11	6	7	12	12	5	8	6	6	0	

(3) 職員数の推移

(単位:人・%)

年 度 部門別	23年	24年	25年	26年	27年	28年	過去5年間 の増減数(率)
一般行政	64	64	67	59	59	56	△8(-12.5%)
教育	8	8	6	6	6	5	△3(-37.5%)
消防	—	—	—	—	—	—	— (%)
普通会計計	72	72	73	65	65	61	△11(-15.3%)
公営企業等会計計	21	17	16	16	16	17	△4(-19.0%)
総合計	93	89	89	81	81	78	△15(-16.1%)

- (注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。
2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。